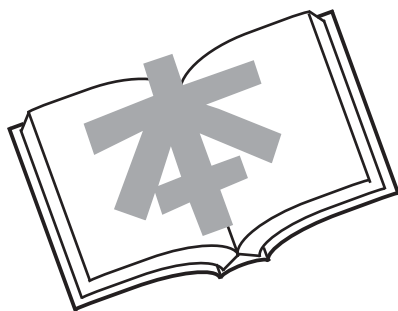


学

読



舗

vol.15

ついに、恐るべき名古屋の夏が訪れました。今年はラニーニャ現象でさらに暑いらしいです。すさまじいまでの猛暑と湿度は、屋外で行動する気力と体力を奪ってしまいますね。どうせ家の中でだらだらするのなら、ついでに読書をするのは如何でしょうか。

■最近の学読班■

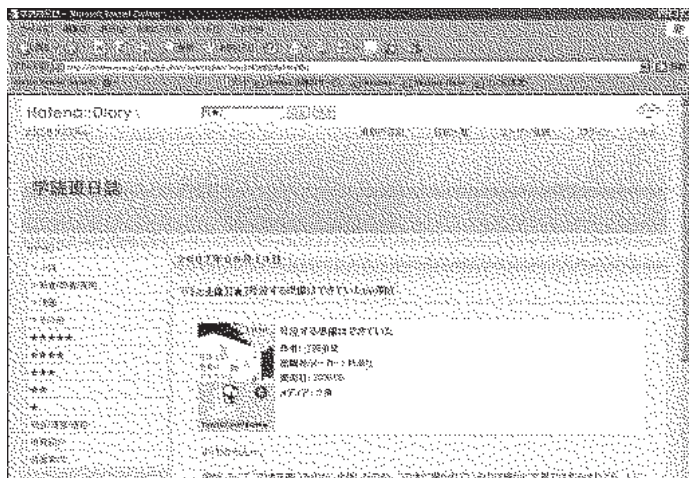
○3時間耐久読書！○

読書の限界に挑戦しようということで、図書館のグループ研究室を借りて一心不乱に読書をしました。あまりのしんどさに去年は不評だったこの企画ですが、今年は3時間に縮減したこともあり、何とか誰も脱落せずに制限時間を終えました。ちなみに成果は…3時間かけて班員平均1冊弱の本を読み終えました。意外に少なく見えるのは、全集や極厚本に挑戦した人が居るからです。

●学読班ブログ爆誕！●

実は学読班にはブログがあるのです！（パチパチパチ…）

今年に入って始めた試みなのですが、自分たちの感想が単発で消費されていくのは空しいなということで、ブログで蓄積することにしました。Me~diaで紹介するのは班員の中で評価の高かった本ばかりなのですが、このブログにはMe~diaに掲載されないような評価の本、又はマニアックな本も掲載されています。興味のある方は是非どうぞ！学読班ブログ→<http://d.hatena.ne.jp/gakudokuhan/>



←世間では高評価の本でも、学読班の中で評価が高いとは限らない？偏見や時流を排した自由な視点から評価・論評。自分の読んだ本が、他の人にはどのように読まれているのかを知るのも一興。

→タイトル付きQRコード。単に検索エンジンで「学読班」と検索するだけでも辿り着けます。是非ブックマークを。



学読的 活字中毒

早速ブログから引用してきました。なので、今回はフランクです。

◆7月の本◆



著者:浅田次郎
出版社:集英社
価格:800円(文庫)
ISBN-10: 4087477541
ISBN-13: 978-4087477542

感想を一言で言えば、「面白い!」。が、ここで書き終えてしまっただけでは流石に怒られそうなので、頑張っ続けてみます…。

内容は、人生崖っぷち、まさに転落寸前の3人がラスベガスのカジノで5400万ドルのジャック・ポットを引き当て、その賞金を巡るドタバタに巻き込まれる、とでも言いましょうか。

なんと言っても、主人公たちの名前が面白い。大前剛(オーマイガアッ、じゃなかった、おおまえごお)に梶野理沙(カジノりさ、じゃなくて、かじのりさ)。いかにもって感じの名前ですね…。もう一人はリトル・ジョン。元軍人のおっさんです。

出だしからいきなりやってくれます。で、この3人を狙う悪役?たちとその他大勢もどこか抜けてて面白い。特に面白いのは、主人公たちを狙う合計260歳になる元殺し屋のじいさん3人。彼らのやりとりには笑っぱなしでした。標的を間違えたり、発砲が不発に終わったり…こんなどうしようもないじいさん達ですが、最後には…これ以上はネタバレになるんでやめときましょう。

物語全体が喜劇的に進みますが、最後は大団円で終わります。苦難?の果てに、手にした大金を、3人はどうするのか?その結論もまた見所の一つです。



著者:伊坂幸太郎
出版社:文藝春秋
価格:1500円(ソフトカバー)
ISBN-10: 4163239804
ISBN-13: 978-4163239804

主人公が死神の連作短編集。

担当になった人間は可(死)or見送り(生)かを、一週間かけて判断して上へ報告するのが死神の役目。その対象になった6人の人間がそれぞれの話の登場人物です。

死って、こうやって誰かが決めるものであって、自分ではどうにもならないものなのかしら。そう思うと死の間際、ありのままを受け入れられる…のか?

死神の、死を計る精度ってどれほど正確なんかなー(主人公の可と見送りの基準がよくわかんない…)。



著者:上橋菜穂子
:二木真希子
出版社:偕成社(1996/07)
価格:1575円(単行本)
:580円(文庫版)
ISBN-10: 4035401501
ISBN-13: 978-4035401506

児童文学に分類されているらしいですが、それらしいのは表紙などの絵のみ。児童向けだから安易な設定が為されたり、ストーリーに飛躍があるわけではありません。十分に読み応えのある作品です。

10年前の作品ということもあってか、ストーリーや作風自体に奇抜なものがあるわけではありません。が、その分安心して読める王道的な内容となっています。小説はノリやギャグではなく、構想力で勝負だ!という方にはお薦めです。

本の読み過ぎで勉強がおろそかになることのないよう、節度を守って読書しましょう(自戒)。

文責 学読班

みんないろいろなことを内に秘めているようですね。
これを見ているあなたも機会があったらレッツトライ!!スッキリしますよ。(編集部)